

令和3年度畜産経営診断指導事業

令和3年度畜産経営指導実施結果

令和4年3月

公益社団法人 新潟県畜産協会

目 次

○ 実施状況の概要	1
○ 指導対象経営の概要	2
○ 畜種別指導実施結果の概要	3
○ 参考資料	11

1 実施状況の概要

「令和3年度畜産コンサルタント指導員名簿」(後掲)に記載した当協会職員4名と当協会が依頼した畜産関係団体職員等15名に加え、新潟県農林水産部経営普及課及び県試験研究機関に所属する職員で指導班を編成し、現地の県地域機関(地域振興局、家畜保健衛生所)職員の参画により調査・分析及び対策の検討を実施した。

○ 指導対象

(1) 規模拡大による経営改善をめざす経営体、(2) 畜産クラスター事業等を活用して施設整備し、目標達成に取り組む経営体、(3) 財務改善をめざす経営体を対象に総合指導を実施

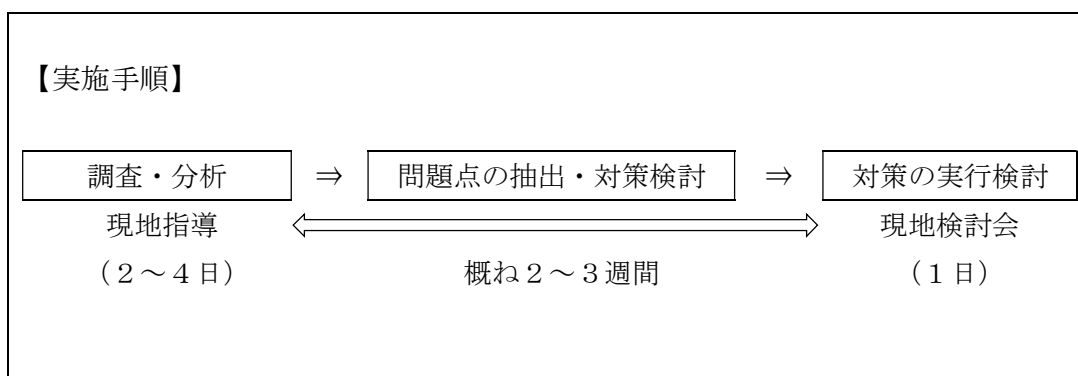
- ・ 総合指導

各経営の課題(技術改善、衛生対策、財務改善等)ごとに、複数の畜産コンサルタント指導員がそれぞれの専門に応じて総合的な指導を実施

○ 指導方法

- ・ 総合指導は、経営全体を把握するための調査・分析に十分な時間(通常3日間)をかけ、概ね2～3週間後に経営者と共に実行可能な対策を決定

なお、今年度は特に自給粗飼料生産に取り組む経営を対象に、通常3日間の調査・分析日程とは別に圃場や畜舎調査を重点対象とした指導日を1日設け、より充実した指導を実施



○ 指導実施戸数 (単位:戸)

区 分	酪農	肉用牛	養豚	合 計
総合指導	7	6	6	19

2 指導対象経営の概要

(1) 経営形態

令和3年度に指導を実施した19戸の後継者就農、飼料用米利用、自給粗飼料生産の状況は下表のとおりであった。

後継者就農の割合は、酪農経営が7割であったのに対し、肉用牛経営と養豚経営では全戸が就農していた。

飼料用米利用は10.5%と利用割合が低く、酪農と肉用牛繁殖経営では0であった。

自給粗飼料生産(稲わら含む)は、酪農経営では4割を超える3戸で取り組み、肉用牛経営は全戸が取り組んでいた。

なお、主要な診断実績数値を新潟県畜産経営指導指標値(平成26年度改訂)と対比して「参考資料」として11ページ以降に掲載した。

○ 指導対象経営の経営形態 (戸、%)

区 分	酪農経営	肉用牛経営		養豚経営	合 計
		繁殖経営	肥育経営		
指 導 実 施 戸 数	7	3	3	6	19
後 継 者 就 農 戸 数	5	3	3	6	17 (89.5)
飼 料 用 米 利 用 戸 数	0	0	1	1	2 (10.5)
自 給 粗 飼 料 生 産 戸 数	3	3	3		9 (69.2)

(注)自給粗飼料生産戸数の合計は酪農経営、肉用牛経営戸数に対する比率で示した。

3 畜種別指導実施結果の概要

令和3年度は、乳価についてはほぼ前年並みで堅調に推移しており、豚枝肉価格は前年をやや下回る推移であった。牛枝肉価格については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令により一時低下したものの、その後10月以降は回復傾向で推移している。ただし、所得率において、肉用牛経営と養豚経営は概ね県指標値を達成しているものの、酪農経営では半数以下の達成割合である。

調査・分析の結果に基づき問題点を整理すると、技術レベルに課題がある経営が多いことから、各事例の技術、経営レベルを判断するために新潟県畜産経営指導指標と比較した。

各指標値の達成度は以下のとおりであり、今後、改善が必要な課題項目を明確化した。

(1) 酪農経営（総合指導7戸）

指標項目	単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)					
				~80%	80~90%	90~100%	100~110%	110%~	
技術管理	経産牛平均分娩間隔	ヶ月	14.0以内	14.3	●	●●●	●●	●	
	経産牛平均産歴	回	3.5以上	0	●●●●	●●	●		
	経産牛1頭当り産乳量	kg	9,500以上	28.6	●	●	●●●	●●	
	体細胞数	千個	160以下	28.6	●●●●	●			●●
	乳飼比	%	50以下	57.1	●●	●●●	●		●
経営管理	所得率	%	15以上	42.9	●●●●			●	●●
	経産牛1頭当り飼養管理時間	時間	120以下	0	●●●●●	●	●		

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
経産牛平均分娩間隔	14ヶ月以内	1戸	<p>初回授精日数が80日を超える経営が5戸、80日以内に授精を行っている経営でも初回受胎率が平均13.1%と低く、分娩後の母体の回復に遅れが見られることが主な要因である。</p> <p>泌乳後期から乾乳期にかけての飼養管理の強化と、繁殖障害牛に対する早期治療を行うとともに、適期授精の徹底が重要である。</p>

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
経産牛平均産歴	3.5産以上	0	牛群の更新率が20%を超える経営が5戸、経産牛事故率が10%を超える経営が3戸となっており、平均産歴が向上しない主な要因となっている。定期的な検診の実施による疾病の早期発見と治療、分娩前後の移行期における飼養管理の強化を図ることが重要である。
経産牛1頭当り産乳量	9,500kg以上	2戸	平均産歴が伸びないことに加えて、乳房炎の発生、分娩後事故と分娩間隔伸長による牛群の搾乳日数の伸長が乳量低迷の主な原因である。 日常管理の強化による乳房炎発生の防止・発情発見率の向上による分娩間隔の短縮と、死産事故発生の防止によって経産牛平均産歴3.5産以上の牛群を整備することが重要である。
体細胞数	160千個以下	2戸	乳房炎の発生が原因である。 日常搾乳時のプレ、ポストディッピング等搾乳衛生対策の実行による発生の防止、分房ごとの定期的な乳房炎検査の継続、乳房炎牛に対する有効薬剤による搾乳・乾乳時の治療、清潔な飼養環境の整備による環境性乳房炎発生の防止が重要である。
乳飼比	50%以下	1戸	配合飼料・輸入乾草価格上昇の影響を受けて、とりわけ自給飼料主体でない経営において飼料費負担が大きく増加した。自給飼料基盤がある経営においては収量および牧草品質向上による購入飼料総量低減を、購入飼料主体の経営においては給与品目のこまめな見直しによる飼料費低減を図ることが重要である。

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
所得率	15%以上	3戸	濃厚飼料および粗飼料価格が共に高騰したことにより、酪農経営の収益性は全体的に昨年より悪化した。そのような中で一定の所得率を確保した事例では、自給飼料の積極的な活用による購入飼料費の低減や、和牛受精卵移植の活用により子牛販売収入を確保していた。
経産牛1頭当り 飼養管理時間	120時間以下	0	後継者の就農により、労働力が増加したが、飼養規模を拡大できないことが大きな原因である。 安定的な後継牛の確保・事故牛発生防止による計画的な規模の拡大と、飼養管理の強化によって、労働時間に見合う所得を確保することが必要である。

(2) 肉用牛繁殖経営（総合指導3戸）

指標項目		単位	指標値等	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)				
					～80%	80～90%	90～100%	100～110%	110%～
技術管理	平均産歴	産	7.0以上	0	●●	●			
	平均分娩間隔	ヶ月	12.0以下	33.3			●●	●	
	受胎に要する種付回数	回	1.5以下	33.3		●	●	●	
	子牛事故率	%	3.0以下	33.3		●●		●	
経営管理	所得率	%	30.0以上	66.7	●			●●	
	減価償却費対売上高比率	%	15.0以下	66.7	●				●●

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
平均産歴	7.0産以上	0	<p>指標値を達成した事例はなかった。</p> <p>主な要因は繁殖牛の増頭や産歴が進んだ牛、繁殖成績の悪い牛の更新を行ったことであるが、コスト低減の観点からも長期連産を図るため、飼養管理の徹底等、高度な繁殖技術が求められる。</p>
平均分娩間隔	12.0か月以下	1戸	<p>指標値を達成した事例は1戸のみであった。</p> <p>観察強化による適期授精の他、飼料給与内容の見直し、暑熱対策等、飼養管理の改善により短縮を図る必要がある。</p>
受胎に要する種付回数	1.5回以下	1戸	<p>指標値を達成した事例は1戸のみであった。</p> <p>観察強化による適期授精の他、繁殖牛の飼養管理改善により、正常な発情の誘起や受胎率を高める必要がある。</p>

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
子牛事故率	3.0%以下	1戸	指標値を達成した事例は1戸のみであった。 子牛の飼養管理改善や観察強化による異常の早期発見・対処に努めるとともに、虚弱な子牛とならないよう分娩前後における母牛の飼養管理の見直しや分娩事故の防止対策が必要である。
所得率	30.0%以上	2戸	指導値を達成した事例は2戸であった。 自給粗飼料生産や事故防止によるコスト低減、分娩間隔の短縮や子牛の発育改善による子牛販売収入の増加が必要である。
減価償却費対売上高比率	15.0%以下	2戸	指標値を達成した事例は2戸であった。 達成しなかった事例については規模拡大に伴う投資が主な要因ではあるものの、取得資産の効率的な運用の他、今後の計画的な投資や各種事業の活用による自己負担の軽減といった対策が必要である。

(3) 肉用牛肥育経営（総合指導3戸）

指標項目		単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)				
					~80%	80~90%	90~100%	100~110%	110%~
技術管理	出荷月齢	ヶ月	28.0以内	0		●	●●		
	枝肉重量	kg	490以上	100				●●●	
	1日当たり増体重	kg	0.85以上	33.3			●●	●	
	枝肉格付4等級以上率	%	80.0以上	100					●●●
	事故率	%	2.0以下	0	●●	●			
経営管理	所得率	%	6.0以上	100					●●●
	自己資本比率	%	50.0以上	66.7		●			●●

※技術管理項目については去勢牛の実績のみを記載した。

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
出荷月齢	28ヶ月以内	0	<p>指標値を達成した事例はなかった。</p> <p>コスト低減を図るためにも、飼養管理改善や肥育前期における飼料増給、衛生管理の徹底による疾病発生の防止等により増体量の向上を図ることで出荷月齢を早める必要がある。</p>
1日当り増体量	0.85kg以上	1戸	<p>指標値を達成した事例は1戸のみであった。</p> <p>育成期・肥育前期の飼料給与体系の見直し、衛生管理の徹底といった技術面その他、群飼における個体間で採食量の偏り防止対策等、給餌方法や牛舎環境の整備といった取組も必要である。</p>
事故率	2.0%以下	0	<p>指標値を達成した事例はなかった。</p> <p>特に若齢期のワクチン接種や防寒対策等の疾病予防の他、日常観察の徹底による異常の早期発見及び対策の早期実行が必要である。</p>
自己資本比率	50.0%以上	2戸	<p>指標値を達成した事例は2戸であった。</p> <p>達成しなかった事例については、長期借入金の計画的な運用により固定負債を削減し、経営の安全性を高めることが重要である。</p>

(4) 養豚経営 (総合指導6戸)

指標項目	単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)					
				~80%	80~90%	90~100%	100~110%	110%~	
技術管理	1 腹 当 り 分 娩 頭 数	頭	12.0 以上	100				●●●●	●●●●
	1 腹 当 り 離 乳 頭 数	頭	9.9 以上	67.7			●●	●●●●	●
	離 乳 時 育 成 率	%	90 以上	33.3		●	●●●●	●●	
	離 乳 ~ 受 胎 平 均 日 数	日	12 以 内	16.7	●●●●	●	●		●
	分 娩 間 隔	日	150 以 内	0			●●●●●● ●●		
	年 間 換 算 離 乳 子 豚 頭 数	頭	24 以 上	50.0			●●●●	●●	●
	肉 豚 1 日 当 り 増 体 量	g	670 以 上	33.3			●●●●●●	●	●
	肉 豚 期 間 平 均 事 故 率	%	5 以 下	33.3	●●●●●●			●	●
	種 雌 豚 1 頭 当 り 肉 豚 出 荷 頭 数	頭	22.8 以 上	50.0		●●	●	●●	●
経営管理	自 己 資 本 比 率	%	50 以 上	33.3	●●●●		●		●●
	所 得 率	%	10 以 上	83.3	●			●●●●	●●

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
離 乳 時 育 成 率	90%以上	2 戸	<p>指標値を達成した事例は2戸のみであった。</p> <p>育成率が低い事例では、母豚及び子豚の栄養管理（適正な飼料給与）を徹底する必要があるほか、分娩豚舎の適正温度の設定や保温箱の確実な利用、圧死防止対策などを図る必要がある。</p>
離 乳 ~ 受 胎 平 均 日 数	150 日 以 内	1 戸	<p>最も改善の遅れている技術項目のひとつであり、指標値を達成した事例は1戸のみであった。</p> <p>離乳後の発情再起の遅れが主要因であり、授乳期の母豚が栄養不足にならないよう管理する必要がある。</p> <p>特に長期化が目立つ事例では、母豚の管理観察強化、母豚更新の判断を的確に実施するなど基本的事項の徹底を図る必要がある。</p>

課 題 項 目	指標値	指 標 値 達成戸数	課題と対策
分 娩 間 隔	150日 以内	0	前述の「離乳～受胎平均日数」を短縮することに加え、授乳子豚の栄養管理・飼養管理を適切に実施して健康的に仕上げ、平均哺乳日数の短縮を図る。
肉豚1日当り増体量	670g以上	2戸	増体量の低い経営では、密飼にならないよう適正な肥育スペースを確保すること、肥育ステージに応じた飼料の適正給与(切り替え時期の見直し)が必要である。
肉豚期間平均事故率	5%以下	2戸	指標値を達成した事例は2戸のみであった。 事故率が高い事例では、疾病の原因特定と治療のほか、老朽化した豚舎の衛生状況改善、豚舎の換気や水洗・消毒の強化、ワクチンプログラムの見直しが必要である。 また、離乳時の発育遅れが多発していたため、授乳中の栄養管理から見直すことも重要となる。
自 己 資 本 比 率	50%以上	2戸	指標を達成していない事例の主な理由は、過去の畜舎新築に係る長期資金の借り入れであった。また、生産費用(飼料費・修繕の資材費)の高騰等により、流動負債(買掛金)が増加した事例も見られた。

参 考 资 料

酪農経営 1

区 分			指標値	最大値	最小値	経 営 体 番 号							
						1	2	3	4	5	6	7	
技 術	乳	経産牛平均産歴	産	3.5以上	3.4	2.0	2.1	3.0	2.0	2.1	3.4	3.1	2.6
		経産牛平均分娩間隔	月	14.0以内	17.7	13.4	14.9	16.1	16.1	14.5	16.3	17.7	13.4
	牛	経産牛平均種付回数	回	2.0以内	4.2	1.6	2.9	4.2	2.3	3.8	3.9	2.9	1.6
		経産牛処分率	%		56.0	12.3	23.6	31.5	50.2	45.6	12.5	56.0	12.3
管 理	生	搾乳牛1頭当り産乳量	kg		10,965	8,820	8,851	10,777	9,248	10,773	10,776	8,820	10,965
		経産牛1頭当り産乳量	kg	9,500以上	9,742	7,282	8,203	9,451	8,576	9,742	9,339	7,282	9,685
		濃厚飼料1kg当り産乳量	kg		2.71	1.05	1.05	2.71	2.00	2.48	2.00	1.61	1.71
	乳	脂 肪 率	%	3.8以上	3.94	3.73	3.90	3.85	3.83	3.94	3.87	3.73	3.78
		無 脂 固 形 分 率	%	8.8以上	8.90	8.64	8.89	8.89	8.82	8.90	8.81	8.81	8.64
		体 細 胞 数	千個	160以下	538	78	232	226	178	298	78	538	118
成 績	飼 料	経産牛1頭当り濃厚飼料給与量	kg	3,600	7,789	3,345	7,789	3,345	4,270	3,928	4,679	4,511	5,666
		経産牛1頭当り粗飼料給与量	kg	5,220	6,755	2,516	4,529	6,755	4,737	4,246	4,305	2,516	4,140
	給 与	給 与 養 分 率	C P %		151.3	112.3	151.3	-	120.6	112.3	115.6	120.3	115.0
		給 与 充 足 率	T D N %		128.1	101.5	128.1	-	112.3	101.5	110.2	110.5	107.4
	与 績	給 与 割 合	体重に対する全給与	%		5.0	3.0	5.0	4.0	3.8	3.5	3.8	3.0
給 与 粗 飼 料			%		2.7	1.1	1.8	2.7	2.0	1.8	1.8	1.1	1.7

酪農経営2

区 分			指標値	最大値	最小値	経 営 体 番 号								
						1	2	3	4	5	6	7		
術 管 理 成	飼 料	経産牛1頭当り作付実面積	a	50.2	25.4	-	-	50.2	28.1	-	-	25.4		
		T D N 自給率	%	26.2	7.9	-	-	7.9	26.2	-	-	17.9		
	生 産	10 a 当り収量	青刈作物	kg	4,643	4,643	-	-	-	4,643	-	-	-	
			永年牧草	kg	5,000以上	1,006	215	-	-	215	512	-	-	1,006
		1kg 当り生産費	生 草	円		0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-
			埋 草	円		28.60	26.31	-	-	-	26.31	-	-	28.60
乾 草	円			-	-	-	-	34.2	-	-	-	-		
成 働	経産牛1頭当り飼養管理時間	時間	120.0	368.7	124.2	197.0	173.9	124.2	231.5	159.0	131.4	368.7		
	10 a 当り飼料栽培時間	時間	8.0	26.7	2.5	-	-	2.5	26.7	-	-	7.4		
経 管 理 成 績	出 荷	生乳1kg 当り販売単価	円		135.48	134.43	135.45	135.29	135.07	135.48	135.13	134.56	134.43	
		生 産 原 価	生乳1kg 当り	生産原価	円		168.66	94.40	168.66	94.40	125.77	138.57	134.72	126.95
	総原価		円		191.99	114.40	191.99	114.40	130.04	149.52	153.43	141.46	180.04	
	生 産 原 価	生乳1kg 当り	生産原価	円		132.49	67.90	132.49	67.90	101.75	101.22	103.67	99.88	103.37
		自家労賃控除後	総原価	円		155.82	87.80	155.82	87.80	106.02	112.17	122.39	114.39	122.95
	管 得	経産牛1頭当り所得	円		448,982	▲ 171,690	▲ 171,690	448,982	252,847	227,280	106,951	111,509	122,143	
		1日当り所得	円		42,930	▲ 13,970	▲ 13,970	42,930	16,235	17,698	11,630	3,819	9,872	
		労働1時間当り所得	円		2,582	▲ 872	▲ 872	2,582	2,035	982	673	849	331	
		経産牛1頭当り所得 (子牛販売収入控除)	円		160,872	▲ 255,305	▲ 255,305	129,433	160,872	139,832	14,976	43,533	26,762	
		所得率	%	15以上	27.9	▲ 0.7	▲ 0.7	27.9	19.9	15.6	7.9	10.3	7.9	
成 績 性	乳 飼 比	%	50以下	78.8	40.5	78.8	56.6	56.2	40.5	62.7	55.6	50.1		
	うち経産牛当りの乳飼比	%	45以下	70.0	35.6	70.0	52.6	50.0	35.6	54.0	55.6	41.8		
	自給飼料費加算乳飼比	%		52.4	48.4	-	-	52.4	49.7	-	-	48.4		
	支払利息対売上高比率	%	2以下	4.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	4.0	0.2	0.0		
	減価償却費対売上高比率	%	15以下	15.6	8.9	9.9	9.1	15.3	14.8	8.9	15.6	11.4		
	自己資本比率	%	50以上	93.0	▲ 25.3	▲ 25.3	85.7	33.6	93.0	40.0	6.7	73.2		
	流動比率	%	200以上	693.9	15.4	120.0	274.7	520.0	693.9	189.2	15.4	488.8		
	経産牛1頭当り固定資産額	千円		656	255	263	353	595	643	273	255	656		
経産牛1頭当り負債額	千円		755	83	755	83	643	88	310	278	348			

(注) 1 飼料生産における1kg当り生産費は自家労賃控除額で示した。

2 経産牛1頭当り負債額は流動+固定負債の期首・期末の平均で示した。

肉用牛繁殖経営 1

区 分			指標値	最大値	最小値	経営体番号				
						1	2	3		
技 術 管 理 成 績	繁殖牛 1 頭 当り 飼 料 畑 面 積		a		51.3	25.1	45.9	51.3	25.1	
	繁 殖	平 均 産 歴 (供 用 産 歴)		産	7.0以上	5.7	2.9	5.7	4.8	2.9
		平 均 分 娩 間 隔		ヵ月	12.0以下	12.9	11.9	11.9	12.9	12.6
		受 胎 に 要 す る 種 付 回 数		回	1.5以下	1.8	1.5	1.8	1.6	1.5
		ET 含 年 間 子 牛 生 産 頭 数		頭		36	17	36	26	17
	子 牛 育 成	ET 含 年 間 子 牛 販 売 頭 数		頭		21	11	21	19	11
		雌 子 牛	販 売 時 日 齢	日		332	247	282	332	247
			販 売 時 体 重	kg	260以上	291	241	255	291	241
			日 齢 体 重	kg		0.98	0.88	0.91	0.88	0.98
		雄 子 牛	販 売 時 日 齢	日		276	250	276	260	250
販 売 時 体 重			kg	295以上	306	265	306	286	265	
日 齢 体 重	kg			1.11	1.07	1.11	1.10	1.07		
子 牛 事 故 率		%	3.0以下	3.7	0.0	0.0	3.6	3.7		
販 売	雌 子 牛 販 売 価 格		円		702,900	515,533	576,400	515,533	702,900	
	雄 子 牛 販 売 価 格		円		824,843	772,640	807,889	772,640	824,843	
	平 均		円		780,500	729,789	774,819	729,789	780,500	

肉用牛繁殖経営2

区 分				指標値	最大値	最小値	経営体番号			
							1	2	3	
技術 管理 成績	飼料 給与	繁殖牛 1頭当り	1日当り量	濃厚飼料 kg		1.6	0.9	1.4	1.6	0.9
			給与量	粗飼料 kg		7.3	5.3	7.3	7.1	5.3
				計 kg		8.7	6.2	8.7	8.7	6.2
			飼料費	1日当り 円		469	120	424	469	120
				年間 円		171,654	43,920	155,184	171,654	43,920
			子牛 1頭当り	1日当り量	濃厚飼料 kg		3.0	2.6	3.0	2.7
		給与量	粗飼料 kg		1.8	1.2	1.7	1.2	1.8	
			計 kg		4.7	3.9	4.7	3.9	4.4	
			飼料費	1日当り 円		406	225	406	364	225
				年間 円		111,082	61,560	111,082	99,590	61,560
			粗飼料自給率 %		93.5	78.4	78.4	92.5	93.5	
経営 管理 成績	原価	自家労賃控除後	生産原価 円		582,288	301,283	301,283	319,075	582,288	
			総原価 円		326,667	299,482	299,482	326,667	300,552	
	所得	繁殖牛1頭当り所得	所得 円		180,461	38,424	180,461	152,466	38,424	
			所得率 %	30.0以上	32.4	23.3	32.4	31.5	23.3	
	安全 性		支払利息対売上高比率 %	4.0以下	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	
			減価償却費対売上高比率 %	15.0以下	42.3	11.0	11.0	12.6	42.3	
			自己資本比率 %	50.0以上	98.9	78.7	78.7	91.7	98.9	
			流動比率 %	100.0以上	2,449.6	847.2	847.2	1,583.4	2,449.6	
繁殖牛1頭当り資産額 千円				962	729	962	729	876		
	繁殖牛1頭当り負債額 千円		205	10	205	60	10			

肉用牛肥育経営 1

区 分				指標値	最大値	最小値	経営体番号				
							1	2	3		
技 術 管 理 成 績	肥育牛1頭当り労働時間			時間		135.4	24.5	24.5	41.2	135.4	
	育 技 術 成 績	期間販売頭数			頭		60	11	60	41	11
		出 荷	頭数		頭		60	7	60	41	7
			月齢		ヵ月	28.0以内	31.2	28.5	28.5	31.2	29.0
		肥 育	日数		日	570以内	741	600	741	671	600
			体重		kg	780以上	840	819	819	824	840
		枝 肉	重量		kg	490以上	532	516	516	521	532
			1日当り増体重		kg	0.85以上	0.90	0.77	0.90	0.77	0.84
		枝肉格付4等級以上率		%	80.0以上	100.0	90.2	96.7	90.2	100	
	事故率			%	2.0以下	8.3	2.4	3.2	2.4	8.3	
	販 売	販売牛1頭当り価格			円	1,455,565	1,321,639	1,384,175	1,455,565	1,321,639	
		枝肉1kg当り価格			円	2,792	2,681	2,681	2,792	2,692	
	飼 料 給 与	肥育牛1頭1日 当り給与量	濃厚飼料	kg	7.7	8.1	7.4	7.4	8.1	7.5	
粗飼料			kg	2.3	4.3	2.0	2.2	2.0	4.3		
計			kg	10.0	11.8	9.6	9.6	10.1	11.8		
飼料要求量		kg	11.8	15.5	10.7	10.7	13.1	15.5			
与 飼 料 費	1日当り		円		671	511	511	671	668		
	増体1kg当り		円		879	568	568	867	879		

肉用牛肥育経営2

区 分				指標値	最大値	最小値	経営体番号		
							1	2	3
経 営 管 理 成 績	原 価	販売牛1頭当り素畜費		円	760,376	650,887	650,887	760,376	688,550
		販売牛1頭当り 自家労賃控除後	生産原価	円	1,236,157	858,001	1,085,520	1,236,157	858,001
			総原価	円	1,208,439	590,273	1,128,423	1,208,439	590,273
	販売牛枝肉1kg当り素畜費			円	1,459	1,261	1,261	1,459	1,403
		販売牛1kg当り 自家労賃控除後	生産原価	円	2,371	2,103	2,103	2,371	2,224
			総原価	円	2,318	1,530	2,186	2,318	1,530
	所得	出荷牛1頭当り所得		円	580,150	247,126	255,752	247,126	580,150
		肥育牛1頭当り所得		円	201,658	130,375	130,375	143,515	201,658
肥育牛1頭当り 補てん金受領額				円	5,908	700	987	700	5,908
肥育牛1頭当り 補てん金控除所得				円	195,750	129,388	129,388	142,815	195,750
所得率		%	6.0以上	49.0	16.9	18.4	16.9	49.0	
安全性	支払利息対売上高比率		%	2.0以下	0.3	0.0	0.3	0.2	0.0
	減価償却費対売上高比率		%	5.0以下	12.2	0.02	0.7	0.02	12.2
	自己資本比率		%	50.0以上	98.6	40.5	65.4	40.5	98.6
	流動比率		%	200.0以上	5,874.0	352.8	1,191.4	352.8	5,874.0
	肥育牛1頭当り資産額		千円		1,338	1,006	1,006	1,074	1,338
	肥育牛1頭当り負債額		千円		639	19	348	639	19

養豚経営 1

区 分		指標値	最大値	最小値	経 営 体 番 号							
					1	2	3	4	5	6		
繁殖部門	種雄豚1頭当り種雌豚頭数	頭		40.9	9.7	40.9	16.3	13.1	9.7	13.1	15.1	
	種雌豚更新率	%		87.2	27.2	44.1	48.6	87.2	27.2	42.8	42.0	
	種雌豚平均産歴	産		4.4	3.3	3.6	4.1	3.3	4.4	4.1	4.2	
	分娩	1腹当り分娩頭数	頭	12.0以上	13.7	12.2	13.3	13.7	12.2	13.1	13.3	12.8
		“ 死産頭数	頭		2.2	0.9	0.9	1.0	1.5	1.5	2.2	0.9
		“ 哺乳開始頭数	頭		12.7	10.7	12.4	12.7	10.7	11.6	11.1	11.9
		流産・早産等発生率	%		1.74	0.00	0.00	0.40	1.74	1.41	0.00	0.95
	離乳	1腹当り離乳頭数	頭	9.9以上	11.1	9.6	10.7	9.8	9.6	10.4	10.1	11.1
		平均哺乳日数	日	24	28.4	22.2	23.0	24.8	28.4	22.2	22.6	26.8
		子豚1頭当り離乳時体重	kg	6以上	7.0	6.0	6.0	6.0	7.0	6.0	6.0	7.0
		離乳時育成率	%	90以上	95.5	77.7	86.3	77.7	89.7	89.7	91.0	95.5
	分娩間隔	離乳～受胎平均日数	日	12以内	17.1	9.7	15.0	12.4	17.1	17.1	17.1	9.7
		分娩間隔	日	150以内	159.5	150.5	152.0	151.2	159.5	153.3	153.7	150.5
		年間回転	回	2.43以上	2.43	2.29	2.40	2.41	2.29	2.38	2.37	2.43
		年間換算離乳子豚頭数	頭	24以上	27.0	22.0	25.7	23.6	22.0	24.8	23.9	27.0
	飼料	種雌豚1頭当り年間換算給与量	kg	1,000	1,277	1,036	1,149	1,277	1,098	1,107	1,036	1,138
	労働	種雌豚1日1頭当り労働時間	分	4.5	10.4	4.7	4.7	9.9	5.3	7.6	10.4	6.5
		肥育豚1日1頭当り労働時間	分	0.5	1.0	0.3	0.3	0.6	1.0	0.6	0.6	0.5
		出荷豚1頭当り労働時間	時		5.2	2.0	2.0	4.7	4.2	3.3	5.2	3.0

養豚経営 2

区 分			指標値	最大値	最小値	經 営 体 番 号						
						1	2	3	4	5	6	
	種雌豚1頭当り肉豚出荷頭数	頭	22.8以上	25.5	19.6	23.4	21.1	19.6	23.5	20.1	25.5	
		増体	肥育開始時体重 kg	6以上	7.0	6.0	6.0	6.0	7.0	6.0	6.0	7.0
			出荷時体重 kg	115	120.4	109.6	120.4	113.0	109.6	117.5	112.3	115.0
			増体量 kg	109	114.4	102.6	114.4	107.0	102.6	111.5	106.3	108.0
			肥育期間日	161	175.3	149.6	175.3	167.3	155.3	149.6	170.3	152.9
	1日当り増体量 g	670以上	745	624	653	640	661	745	624	706		
	事故	期間平均事故率 %	5以下	11.6	1.5	8.3	11.0	8.5	4.7	11.6	1.5	
	密度	肥育豚1頭当り飼育面積 m ²		0.860	0.572	0.601	0.613	0.860	0.806	0.764	0.572	
	出荷	枝肉重量 kg	75	80.2	71.1	80.2	76.2	71.1	76.3	74.7	75.4	
		枝肉1kg当り販売単価 円		546	512	531	515	512	546	524	525	
総出荷枝肉1kg当り格落ち金額 円		14以下	32.04	5.98	11.16	27.13	32.04	5.98	20.22	20.54		
	上物率 %	60以上	63.7	33.6	58.4	41.3	33.6	63.7	48.5	47.5		
飼料	飼料要求率	—	2.78	3.03	2.75	2.83	2.88	2.88	2.75	3.03	2.86	
經理管理成績	原価	離乳時	子豚1頭当り生産原価 円		10,408	6,861	6,861	8,443	7,519	9,578	10,408	8,308
			“ 総原価 円		10,411	6,579	6,579	8,073	7,606	8,632	10,411	7,051
		生産原価	出荷1頭当り 円		42,711	28,171	28,171	36,494	33,538	35,722	42,711	39,013
			出荷枝肉1kg当り 円		572	468	502	479	472	468	572	517
		総原価	出荷1頭当り 円		47,303	29,579	29,579	39,544	38,341	37,567	47,303	39,874
		出荷枝肉1kg当り 円		633	492	527	519	539	492	633	529	
	自家労賃	出荷1頭当り 円		40,433	28,351	28,351	35,153	32,049	32,583	40,433	35,410	
	控除後総原価	出荷枝肉1kg当り 円		541	427	505	461	451	427	541	470	
	所得	種雌豚1頭当り所得 円		215,136	▲ 24,910	81,288	86,188	92,481	215,136	▲ 24,910	107,145	
		肉豚出荷1頭当り所得 円		9,139	▲ 1,241	3,470	4,075	4,780	9,139	▲ 1,241	4,290	
肉豚出荷枝肉1kg当り所得 円			120	▲ 17	62	53	67	120	▲ 17	57		
期間1日当り所得 円			54,108	▲ 5,105	36,390	24,274	25,287	54,108	▲ 5,105	13,268		
	所得率 %	10以上	21.9	▲ 3.2	10.9	10.4	13.0	21.9	▲ 3.2	10.8		
安全性	支払利息対売上高比率 %	2以下	2.1	0.0	0.4	0.0	2.1	0.0	0.6	0.0		
	減価償却費対売上高比率 %	10以下	7.9	2.4	5.3	5.8	3.5	6.1	7.9	2.4		
	肉豚出荷1頭当り支払利息 円		756	0	112	8	756	0	245	0		
	“ 減価償却費 円		3,090	950	1,684	2,271	1,265	2,168	3,090	950		
	自己資本比率(期末時) %	50以上	95.4	▲ 168.9	14.4	49.7	▲ 168.9	95.4	17.0	95.0		
	流動比率(期末時) %	200以上	1,723	59	480	551	59	1,446	487	1,723		
種雌豚1頭当り固定負債額 千円		482	0	326	154	450	0	482	0			
種雌豚1頭当り負債額 千円		665	15	369	199	665	46	530	15			

令和3年度 畜産コンサルタント指導員

1 指導員の構成

常 勤	非 常 勤	合 計
4名	15名	19名

2 指導員名簿

(1) 常 勤

担 当 部 門	氏 名	所 属	資 格	職 名
総 括	樋口良平	公益社団法人 新潟県畜産協会	獣医師	事務局次長兼 総務課長
	谷川昌行	公益社団法人 新潟県畜産協会	総括畜産コンサルタント 畜産環境アドバイザー 日商簿記3級	業 務 課 長
肉 用 牛	佐藤紫織	公益社団法人 新潟県畜産協会	(公社) 全国和牛登録協会地方審査委員 日商簿記3級	業 務 課 長
酪 農	真保春紀	公益社団法人 新潟県畜産協会	農場 HACCP 指導員 日商簿記2級	業 務 課 師

(2) 非常勤

担 当 部 門	氏 名	所 属
経 営	/	新潟県農林水産部経営普及課
飼 養 管 理 (全 般)	/	新潟県農林水産部経営普及課
飼 養 管 理 (酪 農)	吉田智佳子	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター
	奥木邦昭	JA 東日本くみあい飼料株式会社新潟営業所

担当部門	氏名	所属
飼養管理 (酪農)		新潟県農業総合研究所畜産研究センター酪農肉牛科
		新潟県妙法育成牧場
飼養管理 (肉用牛)	奥木邦昭	JA 東日本くみあい飼料株式会社新潟営業所
	長谷川庸輔	全国農業協同組合連合会新潟県本部畜産部畜産課
		新潟県農業総合研究所畜産研究センター酪農肉牛科
飼養管理 (酪農・肉用牛 共通)	裾分久仁子	新潟県農業共済組合第1事業部家畜課
	星野麻衣子	新潟県農業共済組合第1事業部家畜課
	田村雄飛	新潟県農業共済組合第1事業部家畜課
	関根秀男	新潟県農業共済組合第1事業部家畜課
	相田謙一	新潟県農業共済組合第1事業部家畜課
	佐藤昭仁	新潟県農業共済組合第1事業部家畜課
飼養管理 (養豚)	斉藤健太	JA 東日本くみあい飼料株式会社新潟営業所
		新潟県農業総合研究所畜産研究センター生産・環境科
飼料作物		新潟県農業総合研究所畜産研究センター生産・環境科
会計・経理	居蔵宏文	株式会社日本政策金融公庫新潟支店農林水産事業融資課
	白川勝	新潟県農業協同組合中央会農業地域対策部農政営農課
	加藤卓	新潟県信用農業協同組合連合会融資部
	西澤涼	新潟県信用農業協同組合連合会融資部
	佐藤真輝	新潟県信用農業協同組合連合会農業部

新潟県畜産経営診断指導事業

事業主体

新潟県農林水産部畜産課

TEL 025-285-5511（内線 2966） FAX 025-280-5010

URL <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/chikusan/>

事業受託者

公益社団法人新潟県畜産協会

TEL 025-234-6782 FAX 025-234-7045

URL <https://niigata-chikusan.jp/>